

長野市立保育所の民営化等について

保育家庭支援課

1 民営化について

(1) 民営化の主な経過

平成 15 年度に、三輪保育園、川田保育園及び下氷鉋保育園について保護者に民営化計画を提示しましたが、計画が性急であったこともあり、ご理解いただけませんでした。このため、保護者との話し合いに十分に時間をかけるとともに、丁寧な説明に心がけ、ご理解いただくよう努めてまいりました。

保護者からは、民営化によって保育方針及び保育内容が変わることや、保育士が一斉に代わるといった不安の声がありました。

そこで市は、子ども達への民営化による影響が少なくなるよう、民営化の方法を「移管」から「運営委託」に変更し、市の保育方針や保育園の保育環境の継続を図ることとしました。

更に、1 年間の引継ぎ保育を実施し、保育園に勤務する市嘱託保育士が、民営化後も引き続きその保育園で勤務できるように民営化の相手先に要望していくなど、保護者の民営化に対する不安の払拭に努めてまいりました。

こうした中で、三輪保育園は、保護者をはじめ関係者のご理解とご協力により、平成 21 年度から社会福祉法人ミツワ会による運営委託が始まりました。

残る 2 保育園については、保護者からの民営化に対する不安や要望など様々な意見を踏まえ、民営化の時期を見直した上でスケジュールを決定し、提示しました。

また、城東保育園については、隣接する社会福祉法人済生会長野保育園へ移管統合することについて、平成 18 年度に保護者に計画内容を提示し、話し合いを続けてまいりました。

(2) 民営化の時期

(定員及び在園児数は、平成 21 年 4 月 1 日現在、管外受託含む)

保育園名	定員	在園児数	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
三輪保育園	80 人	72 人	引継ぎ保育	運営委託		
川田保育園	85 人	72 人	保護者との協議	・選考委員会 ^{注)} 設置 ・委託先の決定 ・3 者懇談会	引継ぎ保育	運営委託
下氷鉋保育園	95 人	98 人	保護者との協議	・選考委員会設置 ・委託先の決定 ・3 者懇談会	引継ぎ保育	運営委託
城東保育園	60 人	50 人	保護者との協議	・選考委員会設置 ・済生会保育園への移管統合の決定 ・3 者懇談会	引継ぎ (保育)	移管統合

注) 選考委員会・・・長野市立保育園委託・移管先選考委員会(保育園ごとに設置)

(3) 保護者の意見等

保育園名	主な保護者の意見等	主な市の対応	備考
三輪保育園	大きな変化がなく、子どもも元気に楽しく過ごしている様子に安心している。 ----- 3者懇談会を継続してほしい。	委託条件が遵守されているか、指導・監督を行う。 ----- 3者懇談会を継続開催する。	
川田保育園	保護者代表の選考委員を2人から3人に増員してほしい。 ----- 引き続き説明会を開催し、保護者の不安や疑問に対し、回答してほしい。	保護者代表の選考委員について、3人に増員する方向で検討中。 ----- 選考委員会設置を進めるとともに、保護者に対し十分な説明を行い、不安・疑問の払拭に努める。	
下氷鉤保育園	保護者代表の選考委員を2人から3人に増員してほしい。 ----- 引き続き説明会を開催し、保護者の不安や疑問に対し、回答してほしい。	保護者代表の選考委員について、3人に増員する方向で検討中。 ----- 選考委員会設置を進めるとともに、保護者に対し十分な説明を行い、不安・疑問の払拭に努める。	
城東保育園	移管統合先の済生会長野保育園の保護者は、城東保育園との統合をどう考えているのか知りたい。また、済生会長野保育園から保育方針や保育内容を聞きたい。 ----- 移管統合の方法について、城東保育園を現状のまま統合するのか、園児の募集を停止し定員を縮小して統合するのか。	済生会長野保育園保護者への意見聴取を実施。また、済生会長野保育園の職員・園児との交流を推進する。 ----- 移管統合の方法は、保護者等の意見も参考に決定したい。	【済生会長野保育園の概要(H21.4.1現在)】 ・定員 60人 ・在園児数 61人 ・当該法人は全国的に病院、福祉施設などを運営している。

(4) 民営化後における市の関わり方

保育の実施に当たっては、児童福祉法第24条において、「市は保育に欠ける児童を保育園において保育しなければならない」と定められており、公立、私立に関わらず市の責務であることから、民営化後の保育園運営が適切に行われるよう指導・監督をしてまいります。特に、委託又は移管条件に沿った保育が行われているか検証するとともに、市保育指導員による保育指針に基づいた定期的な指導・チェックを行います。

更に、公私立保育園合同で保育士研修会を開催するとともに、双方の保育園による保育士交流会も実施し、保育士の資質向上を図ります。

2 統合について

(1) 信更地区

信田・更府両保育園については、平成 20 年 2 月に地域の区長会が中心となり、「信更地区保育園問題検討委員会」を設立し、両保育園の方向性について検討を重ねていただきました。

その結果、保育園は地域の子育て基盤の根幹であり、地域の存亡に関わる重要な問題であることから、地域に保育園を欠くことはできなく、統合してでも地域に一つは保育園を残すという苦渋の決定をいただきました。

市は、この決定を尊重し、統合の場所、時期について検討した結果、次のとおり方針を示しました。

統合の場所について

更府保育園は隣接するお寺の土地を賃借していること、信田保育園の園舎が更府保育園より広いこと、信更地区全体から見た位置関係、駐在所や医療機関などとの連携を踏まえ、現在の信田保育園を統合保育園とする。

統合の時期について

園児数が両保育園を合わせても 20 数人であり、子ども達の集団活動に適した人数を確保する観点からも、なるべく早い時期での統合を検討する必要がある。更に十分な保育環境と安全性を確保するため、園舎の改修及び耐震化を実施する中で、概ね平成 23 年度の統合を目指す。

(2) 戸隠地区

戸隠地区の 3 保育園（戸隠中央・宝光社・東ノ原）については、合併前から統合が検討されており、市は、合併特例債など有利な起債を活用し、3 園を 1 園に統合することで検討してまいりました。

建設候補地については、平成 20 年 7 月に地区区長会を中心とした戸隠地区保育園統合検討委員会において、現在の 3 保育園を含む 5 箇所の候補地（戸隠運動場内交流施設・旧長野吉田高校戸隠分校・3 保育園）について検討してまいりました。

検討委員会では、各候補地の現状と課題について話し合ったほか、現地を視察するなど、慎重に検討を重ねた結果、旧長野吉田高校戸隠分校跡地（教育委員会所管）に決定いただき、これを受け、市では、平成 22 年度に建設工事を予定し、平成 23 年度の統合を目指し進めております。

(3) 豊野地区

豊野地区の「さつき保育園」と「みなみ保育園」の統合については、合併前から検討されており、市は、合併特例債など有利な起債を活用し 1 園に統合することで検討してまいりました。

建設候補地については、平成 20 年 7 月に地区区長会を中心とした「さつき保育園・みなみ保育園統合改築検討委員会」を設置いただき、市からは、統合改築場所を現在の「みなみ保育園」とし、平成 24 年度に統合する案を提示し、検討いただいております。

今までに 5 回の検討委員会が開催されましたが、検討委員会から「みなみ保育園」は、統合園としては敷地が狭く、保護者の送迎用駐車場が十分確保できない等の意見が出されています。

今後も、検討委員会で十分な協議をしていただく中で、地元のご意向をお聞きしながら、より良い統合保育園を目指したいと考えています。

位置図 別紙 1～3